

令和5年11月8日

## 令和5年度第3回 地域を紡ぐ看看連携セミナー ご案内

～はじめよう、つなげよう 新北海道スタイルで創る看護と看護の連携～

旭川医科大学看護職キャリア支援センター  
センター長 升田 由美子  
地域看護職支援部門長 井戸川 みどり

拝啓

日増しに大気が冷たくなり寒さが深まる季節となりました。皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

旭川医科大学看護職キャリア支援センター 地域看護職支援部門では、大学病院と訪問看護事業所がともに学び・語り合い、地域での療養生活を支えていくための看看連携の推進をめざしたセミナーを企画・開催し、3年目を迎えました。第1回は、「入院関連機能障害の予防における -病院と在宅の連携-」、第2回は、「ちょっと待って、その決定は誰の意思？～患者さんと家族の意向を尊重した療養生活の場を選択するために必要な情報とは～」というテーマで、ミニレクチャーと訪問看護事業所や保健所の看護職と当大学病院看護師とで事例検討を行いました。セミナーでの意見交換は、日々の困りごとの解決策のみならず、新たな気づきや情報共有の大切さや連携強化の再認識、お互いの立場の理解・尊重につながり、参加者の皆様からは大変ご好評をいただきました。

今回の第3回は以下の内容について、ミニレクチャーと事例検討を企画しています。つきましては今年度最終となる第3回を下記日程で開催しますので、是非ご参加いただきたくご案内を申し上げます。第1回・第2回の様子は当センターホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

敬具

記

### 1. 開催日程(年3回)

第1回：~~令和5年7月11日(火) 17:45～19:00~~ 終了しました

第2回：~~令和5年7月28日(木) 17:45～19:00~~ 終了しました

第3回：令和5年12月21日(木) 17:45～19:00

### 2. 内容

テーマ「病院から在宅の最期までがん患者とその家族がよりよく生き抜く支援」

～その人の生き方に寄り添い続けるための在宅と病院の連携～

- ・ミニレクチャー「訪問看護における終末期看護の実際(仮)」

講師：一般社団法人 北海道総合在宅ケア事業団 紋別地域訪問看護ステーション  
所長 高橋亜希子 訪問看護認定看護師

- ・事例検討「終末期患者が残された時間をその人らしく過ごすための在宅と病院の連携」

3. セミナー形態

Zoom によるオンライン開催

4. 対象

訪問看護事業所・保健所で勤務する看護職と本学看護職

5. 参加料

無料

6. 定員

先着順の15施設

※施設単位でのお申込みとなります

※参加人数は1施設につき2名までを上限とします

※Zoom 開催となるため接続機器(PC等)は1施設につき1台までとします

7. 申込方法

施設単位で右記の QR コードからお申込ください

また、当センターホームページ(<https://www.asahikawa-med.ac.jp/ncsc/>)から も  
お申し込みが可能です



8. 申込締切

令和5年12月4日(月)

9. 問い合わせ先

旭川医科大学 看護職キャリア支援センター(白瀧)

TEL:0166-65-2111(代表)

E-Mail:[kango-career@asahikawa-med.ac.jp](mailto:kango-career@asahikawa-med.ac.jp)

主催 旭川医科大学 看護職キャリア支援センター 地域看護職支援部門



第2回 事例検討の様子